



### 派遣概要

DXやBPRの必要性等を、アドバイザーから町長をはじめ幹部職員へ直接意識づけることで、町全体でDXの機運が醸成され、DX推進計画の策定などDXの全庁的な体制整備を行った。

### (1) 背景

人口1.1万人の鶴田町では、令和6年4月にDX推進担当部門を新設したが、DX推進のノウハウや意識共有が不足。DXの必要性について町長や幹部職員の意識共有・機運醸成を図った上で、DX推進方針を決定し、同推進方針と実行計画から成るDX推進計画を策定したい。

**事業名** 鶴田町DX推進計画策定事業  
**対応アドバイザー** 大木 一浩  
**支援分野** 計画策定支援、人材ほか  
**派遣回数** 計3回（実地）

### (2) 支援内容

#### ① 町長ら幹部への機運醸成

幹部職員やプロジェクトメンバーに対し、なぜ今自治体DXが必要なのか等をわかりやすく講演いただいた。

- DX推進の意義や進め方について
- DXの推進にはBPRとデータ利活用が必須



#### ② ワークショップのファシリテーション

- 計画策定プロジェクトチームの初回会議に同席。
- 町や組織が抱える問題や課題を抽出するワークショップを、ブレインストーミング方式にて実施。
- 最終的にはここで出された課題の解決方法がDX推進計画に盛り込まれることになる。

#### ③ 「鶴田町DX推進計画（案）」に対する改善点の助言

- RFI・RFPの手法や流れ、注意点の説明
- 実施フェーズに向けた準備支援（イメージ形成、課題整理）

### (3) 支援成果

#### 全庁的なDXの体制整備

- 町長ら幹部職員に機運醸成を行うことで、職員がDXの必要性を認識し、**全庁的に同じ方向性で推進する体制整備**を図ることができた。
- DXに関する意識や行動指針を**「鶴田町DX推進方針」**として決定した。

#### 支援で明確化した課題を、鶴田町DX推進計画へ反映

- 令和7年度～令和9年度を計画期間とするDX推進計画の策定にあたり、ワークショップで出された課題のうち、**デジタル活用により解決できるものを選別し、実現可能性等を加味し年次計画に落とし込む**ことができた。

#### その後の事業状況

- 町長をトップとした推進体制を構築し、部署横断的に、全庁一体となってDXを推進しており、計画に基づいて事業の遂行・検討を進めている。

